

## 1 教育目標

### (1) 本校の教育目標

一人一人が自ら学び、地域と共に育ち合う

#### 第4次豊田市教育行政計画

##### 【キーワード】

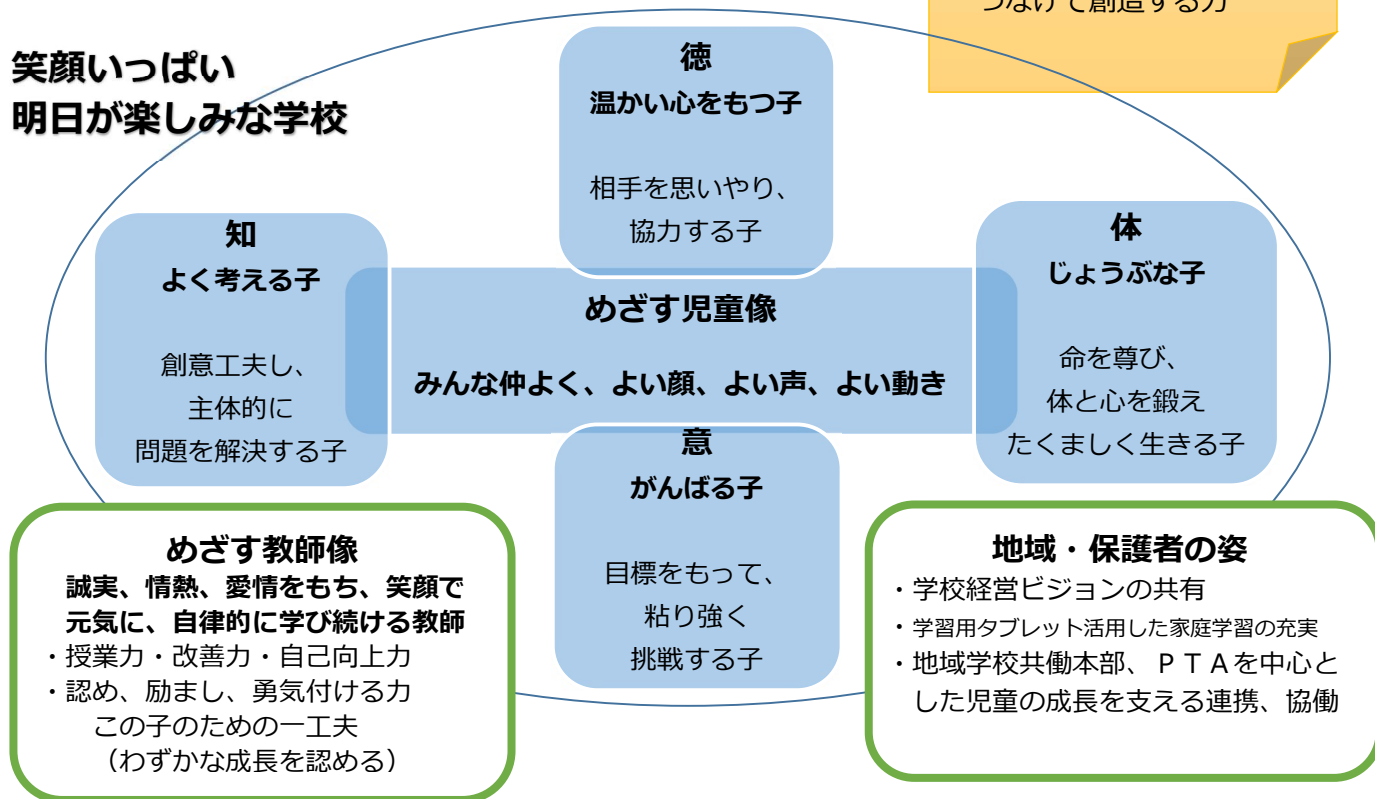
未来を拓く学び合い  
自立・創造・郷土愛・共働

#### 豊田市学校教育情報化プラン

##### 【キーワード】

つなげて創造する力

笑顔いっぱい  
明日が楽しみな学校



### (2) 経営方針

- ア ふるさとの「自然」「歴史」「ひと」から学び、社会全体で児童を育てる開かれた学校づくり
- イ 危機管理を意識し、児童の人権と命を第一に考えた安全・安心な居場所となる学校づくり
- ウ 児童が自己肯定感・充実感・有用感を持ち、生き生きと学び活動する学校づくり
- エ 児童の「よさ」を認め、自己肯定感を育てながら、個々の可能性を引き出す学校づくり
- オ 教職員が確かな学習・生活指導力を持ち、和と誇りをもって教育活動を展開する学校づくり

### (3) 本年度の重点努力目標

#### 重点1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教育課程編成、日々授業改善を図る。

- ・個別最適な学び、協働的な学びにより、自ら学ぶことが楽しい児童を育成し、基礎学力向上を目指す。
- ・本に親しむ機会を増やし、豊かな人間性および、目的に応じた課題解決能力を育成する。
- ・探究的な学習、体験活動、地域人材を生かしたふるさと学習を通して、SDGsの実現に取り組む。
- ・学習用タブレットを活用し、児童の情報活用能力、教員のICT活用指導力・情報活用能力を育成する。

(図書利用の推進、授業スタイル改革、ICTによる多様な学びの創造、一校一実践体力向上、家庭学習の充実)

#### 重点2 教師の「認め、励まし、勇気付ける」力の向上を図り、児童の可能性を引き出す。

- ・児童の主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たす。
- ・異学年交流、あいさつ、清掃、当番などの日常活動の中でのよさや頑張りを見逃さず、価値付ける。

(教員研修、委員会活動、異学年交流)

#### 重点3 教職員が元気に児童と向き合えるように、業務を精選・改善し、多忙化解消を図る。

- ・勤務時間が月45時間、年間360時間を超えないように適正な業務改善を実施する。
- ・ECRS(廃止・統合・交換・簡素化)の視点で、PDCAサイクルを意識した効果検証、分析を行う。

(共働本部との協働、ICT活用による事務の効率化、行事・時間数の見直し、電話受信を控える時間帯の設定17~8)

#### 重点4 地域共催運動会、小規模特認校、防災教育を保護者と共に計画的に進める。